

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

	コード	名 称		コード	名 称
事業名	590	生活排水対策事業	会計	01	一般会計
基本施策	19	自然と共生する、住みよいまちをつくる。	款	04	衛生費
			項	01	保健衛生費
			目	04	環境対策費
担当部課名	生活環境部環境政策課		細目	101	環境保全対策事業
作成者氏名	松本直明	連絡先	細々目	02	生活排水対策事業
		22 - 9637			

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)		
	久米川の水質 大戸川の水質	この事業に取り組むことにより、上野生活排水推進計画の水質目標「BOD 3mg/l」、生物指数「メダカが住める川」を達成することに繋がっていく。また、大戸川浄化実験施設を支援していくことにより貴重なデータが得られる。		
本年事業内容	<p>1 久米川流域生活排水対策推進協議会の活動(事務局) (久米川が県の生活排水対策重点地域に指定されたことを受けて、久米川流域生活排水推進協議会が設立されました。当時の上野市が上野生活排水推進計画を策定し、この計画の目標を達成するため協議会(事務局は環境政策課)として事業を行っている。)</p> <p>2 大戸川浄化実験施設の維持管理支援 (市が「いがうえの大戸川生活排水浄化パートナー協議会」に参画していることから大戸川浄化実験施設の維持管理の一部を支援している。)</p>			
開始年度	平成 16 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等

投入資源

		H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員	正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
	人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
支出内訳 (千円)	事業費(B)	515	696	700
	光熱水費	405	420	420
	その他	110	276	280
	合計(A+B)	2,675	2,856	2,860
財源内訳 (千円)	特定財源			
	国県支出金			
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	515	600	600
	一般財源	2,160	2,256	2,260
上記 ~	に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
クリーンウォーキング、街頭啓発	回	2	2	2			
大戸川浄化実験施設の維持管理	千円	405	420	420			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
上野市生活排水推進計画の目標(生物指数)	平成5年度に立てられた「上野市生活排水推進計画の目標(生物指数)」を指標としました。	生物指標	目標 (メダカが住める川)	メダカが住める川	メダカが住める川
上野市生活排水推進計画の目標(水質)	平成5年度に立てられた「上野市生活排水推進計画の目標(水質)」を指標としました。	mg/l	芝床橋 2,5 mg/l 目標 (3mg/l)	3mg/l	3mg/l

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

久米川流域生活排水対策推進協議会が平成5年に設立されて以来、市が推進する効果的な啓発事業に協力していただき、ここ数年間、BODの数値も改善されてきています。しかし、目標とする生物指標の「メダカが住める川」には、到達していないため継続することが大切です。

評価	必要性	4	この協議会が平成5年に設立され街頭啓発、水質調査、クリーンウォーキングなどに取り組み、今日まで活動を継続したことにより最近、成果がでてきた状況であり、推進計画に沿って引き続き活動を実施する考えです。 また、大戸川浄化実験施設の維持管理支援については木津川改修時点まで継続して実施する考えです。	総合評価  <b>A</b>
	有効性	3		
	達成度	3		
	効率性	3		